第２回インフォメーション・ヘルスＡＷＡＲＤ『アイデア部門』　応募用紙

○タイトル　記事誤解警報システム

○応募者氏名
**　または　グループ名　みたほり班**

○解決したい情報環境をめぐる課題

日本人に対して行われた調査では 2023 年には日本人がニュースを得るソースはオンライン上が最も多くなっている(https://www.nhk.or.jp/bunken/research/oversea/pdf/20231001_6.pdf)。記事を読んでいる途中で離脱することによりニュースの正しい理解が損なわれる可能性がある(https://karapaia.com/archives/52276069.html)。また、一度信じた情報について多くの人は偽情報であるかを調べないというデータもある(https://www.soumu.go.jp/main_content/000945550.pdf p.23)。ただ、誤情報・偽情報は社会的に実害を及ぼします。(陰謀論による暴動、政治的な操作)。

○アイデアの具体的な内容（どんなもので、どんな人が、どう使うと、課題が解決できるのか）

アイデアの具体的な内容

1. **記事解析と注意喚起**：
    - システムが記事全体を解析し、誤解を招きやすい部分（複雑な表現や誤解されがちな事実）を事前に特定します。
    - 読者がその部分に到達すると、注意喚起のポップアップや補足情報が提示され、読者にその箇所での誤解リスクを伝えます。
2. **アイトラッキング技術の活用**：
    - 読者がどの部分を集中して読んでいるか、どこを飛ばしたのかをリアルタイムで追跡します。アイトラッキング技術により、重要な箇所を見逃している場合や飛ばした場合にシステムが反応し、再度その部分を読み直すよう促します。
3. **離脱前の注意喚起**：
    - 読者が記事の途中で読み終えようとする際に、システムが重要な情報が未読である場合に警告し、誤解が生じる可能性を指摘します。また、記事の残りの部分の要約を提示して、読者が最も重要な情報を確実に理解できるようサポートします。

アイデアの対象

記事を読み飛ばす傾向にある一般的なメディア消費者（ニュースサイトの閲覧者、ブログの読者など)。

アイデアが解決するもの

- **誤解の防止**：注意喚起やアイトラッキング技術により、読者が誤解するリスクを減らし、正確な情報理解を促します。
- **教育的価値の向上**：特に批判的思考が必要な分野やニュースの理解において、読者が自ら考える機会を増やします。
- **バイアスの克服**：読者が自身の先入観に気づき、それに基づいた判断ではなく、客観的な情報に基づいた判断を行うサポートをします。

特に重要だと思っている点はこのツールは読み飛ばした結果誤解が起きなそうな場合には警告しないということです。人間の注意時間は有限ですから本当にリスクがあるときだけ知らせるようにします。

○アイデアは未発表のものかどうか。すでに「試作」「試行」している場合は、新たに付け加えたいアイデア（ブラッシュアップするポイント）など

記事を要約するサービスはありますが、要約という工程は記事のコンテクストを失う可能性が多々あると思います。そういったなかで、一部しか読まないことを許すというアイデアは唯一無二のアイデアです。
また、現状の技術ではこのアイデアの実現は難しいと考えられます。アイトラッキングの技術の発展、それから記事内容による誤解の可能性を正確に推測できる思考力に優れた LLM の開発といった技術の発展がそろえばこのアイデアは実現に向かうのではないかと考えています。

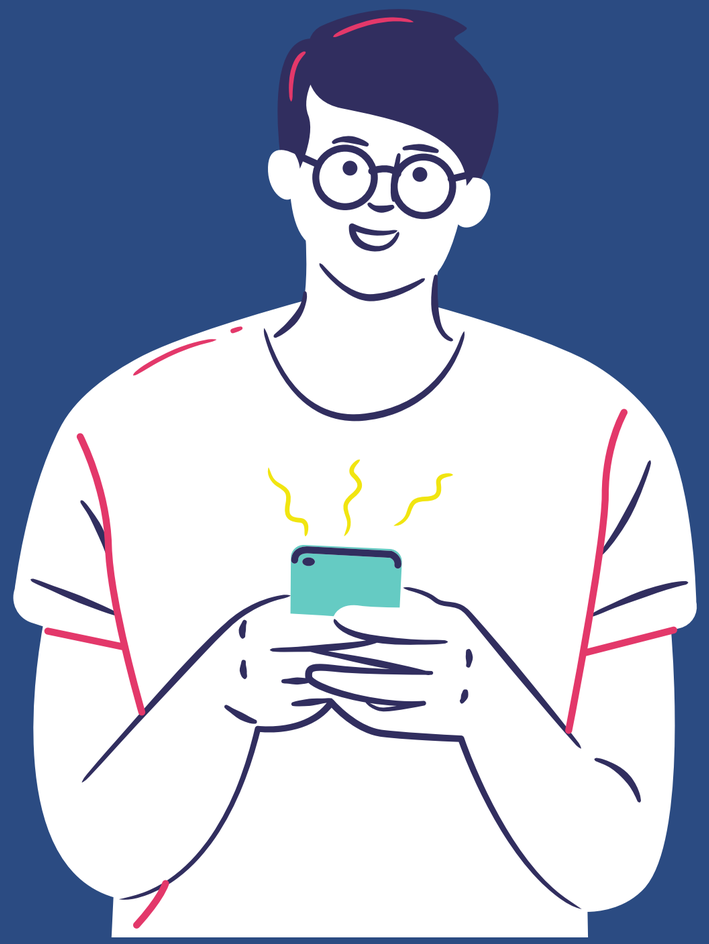
○アイデアを思いついたきっかけ

情報的健康について調べる中で、タイトルや序文、要約では全然ニュース記事の中身が理解できていないという研究を見ました (https://journals.sagepub.com/doi/10.1177/2053168018816189)。また、ニュースのタイトルや序文ではアテンションを引くために過激な謳い文句や意見を多く含むコンテンツがあるといいます。しかし、メディアのタイトルをぱっと目にして軽く記事の中身を目にしたとき、内容を深く読まずに「そんなことがあるんだ」と広めてしまう可能性は十分にあると思いました。ただ、こうして情報をざっと見ていく行為は、膨大な情報がある中では避けられないと思います。そのため、ぱっと記事を見ながらも、危険な情報を教えてくれるようなシステムがあればいいなと感じ、このアイデアを思いつきました。

みたほり班

記事誤解警報システム

あなたは記事を誤解なく読めていますか？



ニュース読む時こんなことありませんか？

- ついつい飛ばし読みしちゃう
- タイトルで分かった気になっちゃう
- 途中でよむの飽きちゃう

こんなリスクがあります

ニュースの読み飛ばしの
悪影響とは

記事の伝える事実と違うことを解釈してしまうかも、、

事実は一部読むことで全体の事実を知った時と違う解釈になることがあります。
怒っているあの人も何か理由があるのかも、、

間違って覚えたまま拡散してしまうかも、

研究によると「偽・誤情報」は「真実・事実」の6倍の速度で拡散されるそう、

社会の混乱に発展してしまうかも、

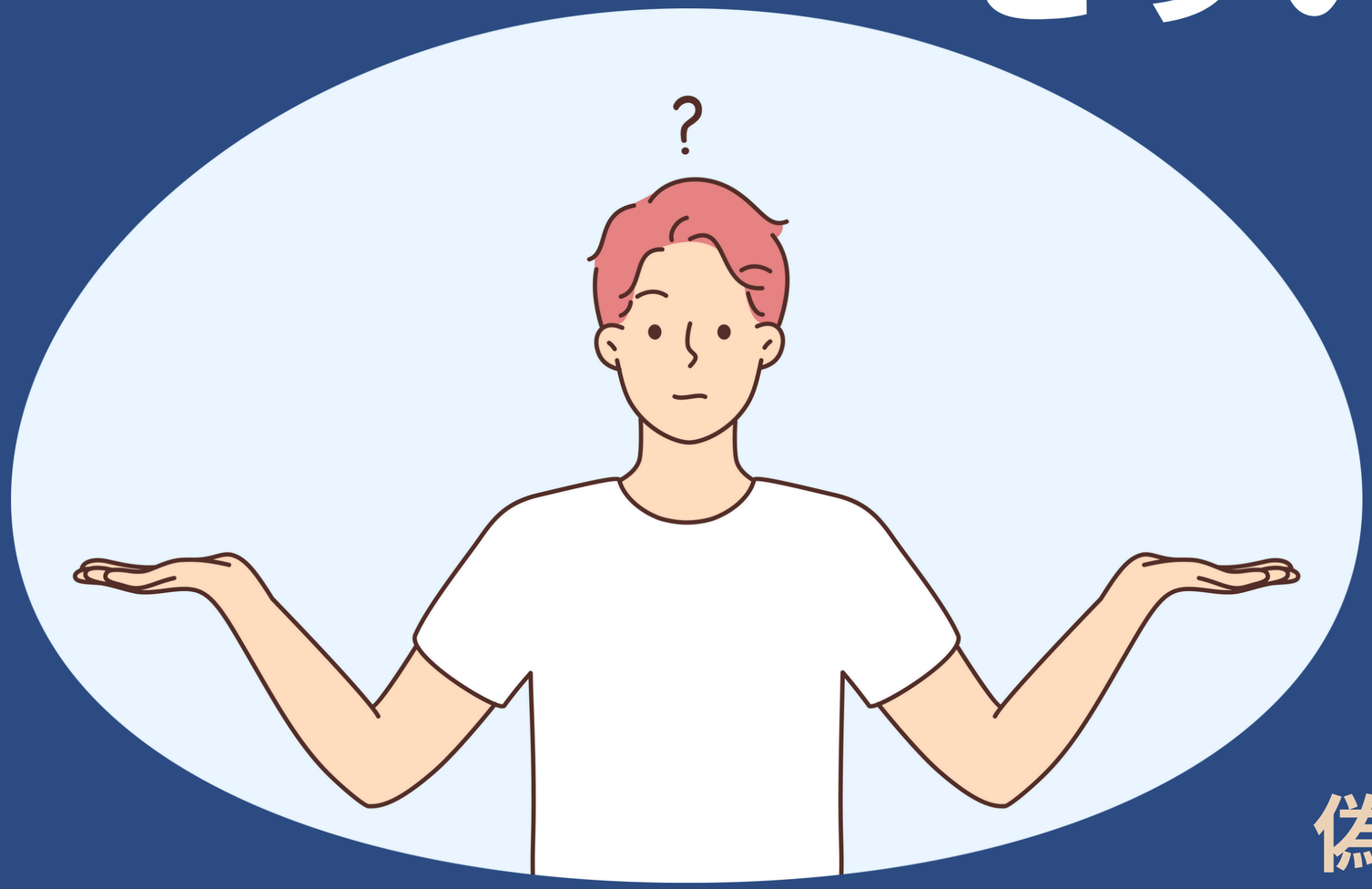
実際にコロナが流行った際にはトイレットペーパーがなくなるというデマがひろまり、店からなくなってしまいました

だからといって記事を
全部ちゃんと読むなんて
めんどくさすぎる！

解決します！

あなたが読んでいる位置を自動検知

誤解が生まれそうな時
重要な内容を見逃した時
のみ警告



こういった場合も通知します

あいまいな表現

偽情報についての記事